

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 504

事務事業名	小中学生文化振興事業	
基本目標	010202	人を育むまち
政策		豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		小・中学校教育の充実
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	学校教育課		
課長名	丹野平三	内線	365
担当者名	石司貴弘	内線	364

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	01	教育総務費
目	02	事務局費
事業コード	170000	

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市内全小中学生		
意図 対象をどのような状態にしたいか	市内の他校の児童生徒が作成した絵画、立体等の図工・美術作品を鑑賞し合ったり、各学校の合唱や演奏を聴き合ったりすることで、豊かな心を培う。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市内音楽会、図工美術作品展の開催を実施する各々の事務局へ委託を行う。平成23年度から長崎県中学校文化連盟補助事業に組み込んでいる。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 委託
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標 ①	図工美術作品展日数	計画値	7	7	7	7	
		実績値	7	7	7		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標 ②	音楽会への児童・生徒参加者数	計画値	2,160	2,179	1,991	2,020	
		実績値	2,174	2,180	2,012		
	達成度	%	100.6%	100.0%	101.1%		
成果指標 ①	図工美術作品展の入場者数	計画値	1,800	2,000	2,000	2,000	
		実績値	2,510	2,052	2,120		
	達成度	%	139.4%	102.6%	106.0%		
	素晴らしい音楽会だったと答えた児童生徒の割合	計画値	100	100	100	100	
実績値		100	100	100			
②	満足した児童生徒数/参加児童生徒数	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,653	2,085	2,037	2,703	2,826	2,826	2,826	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	1,653	2,085	2,037	2,703	2,826	2,826	2,826	
② 人件費(千円)	1,589	1,134	1,411	1,454	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.15	0.20	0.20				
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	3,242	3,219	3,448	4,157				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の改善・ 改革の進捗等)	文化的な行事を市をあげて開催することは、情操教育の観点からも非常に有用である。平成23年度から長崎県中学校文化連盟補助事業に組み込んでいる。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	児童生徒が、お互いの合唱や演奏を鑑賞したり、絵画や版画及び工芸等の作品にふれたりすることは、情操を培うことにつながり、豊かな心を育成していくうえで非常に大切である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内音楽会、市内図工・美術作品展ともに、市内小・中学生の作品の発表の場であり、市として関与するのは当然である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内音楽会、図工美術作品展の来場者数は、平年並みでその関心度は高いものがある。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	音楽会は、経費の殆どが児童生徒の輸送費であり、図工美術作品展は受付係の賃金であるため、いずれも削減の余地はない。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	音楽会は、経費の殆どが児童生徒の輸送費であり、図工美術作品展は受付係の賃金であるため、いずれも削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	音楽会及び図工美術作品展は、児童生徒・保護者・学校からも大変好評であり、来場者数も多いことから現状維持とする。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
意見等	学校教育の一端を公開することにより、保護者・市民の教育に関する理解協力を得ることにつながる。更なる充実を図りたい。			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。